

# 神奈川県アイスホッケー連盟

## 2020 年度 代議員会

### 議 案 書

新型コロナウイルス感染拡大のため日ア連事業の多くが中止されています。  
本連盟にあっても主催大会・主管大会をやむなく中止しました。  
県内スケートリンクも閉館が継続しており、試合・練習会場が確保できない状況です。

例年代議員会を開催している県立スポーツ会館は 8 月末まで閉館。他会場であっても密閉・密集・密接の”3 つの密”を解消できないことから、代議員に出席していただく形式での代議員会開催ができません。

2020 年度代議員会は書面での報告及び提案とし、代議員各位からの意見集約を行います。よろしくお願いします。

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 第 1 号議案 | 各委員会の報告および今後の方針       |
| 第 2 号議案 | 2019 年度 決算報告および会計監査報告 |
| 第 3 号議案 | 2020 年度 予算（案）         |

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 資 料 1 | 2019 年度 事業報告          |
| 資 料 2 | 2020 年度 事業計画          |
| 資 料 3 | 登録者数推移                |
| 資 料 4 | 2019 年度 レフェリー派遣一覧     |
| 資 料 5 | 神奈川県アイスホッケー連盟 規約      |
| 資 料 6 | 2019-2020 年度 役員体制（現行） |
| 資 料 7 | 第 75 回国体、その他神奈川県代表選手  |
| 資 料 8 | 懲戒処分一覧                |

## 第1号議案 各委員会の報告及び今後の方針

### はじめに

県連運営にあたり協力いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防のため県連事業にとどまらずアイスホッケー関連全ての運営が中止、延期となりました。今後の見通しが立たない状況となっています。再開にあたっては感染防止が万全の状態になったとき直ちに始めたい所存ですので皆様のご協力をお願いいたします。

#### 【強化事業】

事業計画に沿った事業を実施するため最後まで状況を見ていたが、残念ながらあと数試合を残し神奈川選手権は終了する事としました。横浜銀行アイスアリーナ、KOSÉ 新横浜スケートセンター、銀河アリーナ、すべてのリンクが利用停止状態となり、新型コロナウイルス感染収束を待つばかりです。

将来を見据えジュニア強化を今後進めていかなければならないと感じたところです。

強化事業にご理解、ご協力を頂いた選手、保護者、強化スタッフの皆様には御礼を申し上げます。

しかし、一部の担当者に大きな負担の掛かる現状は解消されておらず、特にジュニア強化は次世代を担う選手育成が大きな課題と認識しております。

#### 【国体について】

今回第75回国体は八戸で開催されました。少年は第4位に入賞、成年はトーナメント戦であることから早い段階で強豪チームとぶつかり残念な結果となりました。ベスト4以上を目標とし、更なる向上を目指し努力して参ります。

#### 【日ア連事業】

アジアリーグはイーグルス vs クレイنزによる2試合を開催することができました。アイスホッケーファンには欠かせない例年のゲームであるため、アジアリーグ運営委員会へ継続開催の確保、試合数の増加をお願いしてまいります。

2019年から本県で新規登録した横浜 GRITS のアジアリーグ早期参入が期待されます。

アジアリーグ開催が決まりましたらスタッフの皆さんにご協力をお願いしてまいります。

#### 【普及関連事業】

今年、本県でU9小学生低学年の全国大会のため最後まで準備しましたが、直前になって新型コロナウイルス感染症拡大防止のため止む無く中止といたしました。

人口の減少とともに低学年のリンク事情も含め競技人口が減っており、レベルダウンが心配されるところです。当連盟として施設、時間帯等、スタッフ、関係者の協力を頂かないと運営に支障を来す状況が多々ありますので、更なるご厚情とご協力をお願いするところです。

#### 【課題】

アイスホッケーにおいても年齢を問わずプレーを継続して楽しむことが求められています。日ア連も「生涯スポーツ化委員会」が発足し活動が始まりました。ジュニア・女子の普及・育成、高校・大学の強化、社会人・オールドタイマーチームの充実等、アイスホッケーを楽しみ、真剣に練習、ゲームができる環境を整えていきたいと思っておりますのでご協力お願いいたします。

## 1 総務委員会 登録業務に関するまとめ

2019年度の県連登録者総数は 1,613 名でした。※資料 3【登録者数推移】参照

これは、2018 年度に比べ 118 名の増となっています。2010 年度に 2,000 名を切ったからの減少傾向を止めることがまだまだできていません。

今後も、選手で 2,000 名を越える県連にしていくよう努力を続けていきます。

プロアイスホッケーチーム「横浜 GRITS」は、神奈川県連加盟チームとして日ア連登録・アジアリーグ参入するため、2018 年 7 月 18 日から県連と打ち合わせしてきました。

アジアリーグ規約では「リーグへの新規加盟については、所属国連盟・協会の推薦のもと、加盟希望シーズンの 4 月 30 日までに実行委員会へ以下の申請を行い、審査されなければならない。」と規定されています。 <http://www.alhockey.jp/about/regulation.html>

また、2020 年 3 月には国内チームとの試合計画を進めました。(※ 新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました)

神奈川県連から新規加盟するためには県連規約第 18 条で「理事会及び代議員会における承認を経て加入団体となることができる。」と規定しています。

2020-2021 シーズンからアジアリーグに参入する場合、2020 年 4 月 30 日までに実行委員会へ申請を行わなければなりません。

県連(定期)代議員会は毎年 6 月末に実施しています。上記日程に合わせるため、臨時に代議員会事項を処理する方法として、①県連理事会の提案、②関係資料、③返信用はがき、等を同封して郵送し、返信用はがきを集約して結果を出します。このことについて 12 月 11 日、第 7 回理事会で決定しました。

各チーム代議員に郵送、集約結果は対象 57 チーム中、賛成 54・反対 0・未回答 3 となりました。横浜 GRITS の活躍を期待し、県連として応援していきます。

2019 年度登録で 2 重登録が発生しました。

ID を持ち、経験者である前提でシステム操作しながら「該当者なし」となった時点で「入力した内容に間違いがある」ことに至らず、「新規登録」に走ったことによります。

Face off システムにおいて今回ケースのチェックができないことも原因となります。「姓」「名」がカタカナ表記であるか、アルファベットであるかが違い、「姓(ヨミ)」「名(ヨミ)」「生年月日」は同一です。これで「該当者なし」になることは問題です。

他のケースでチームから相談を受け、日ア連事務局に問合せすることがよくあります。これまでも同じ文字でヨミの違い、同じ読みで文字(字体)の違い…(例)阿部・安部・阿邊・安邊・安倍・阿辺…これらは PC のシステムではなく、日ア連事務局担当者の目で確認し、脳で判断して回答いただいているものと考えます。

県連への問い合わせ、必要に応じて県連から日ア連への問い合わせがあれば防げたケースとも考えられます。

今回のケースは、同一県内チームでの 2 重登録であったため偶然発見に至りましたが、県外チームとの 2 重登録の場合は見過ごされているものがあると思われます。

日ア連との調整では、特に外国籍選手の場合「姓」「名」の順、「姓」「名」は母国語表記、「姓のヨ

ミ]「名のヨミ」はカタカナ表記にするよう徹底していく方向とのことです。

各チーム登録担当者への注意と迷った時に県連へ問い合わせを行うよう伝達をお願いします。

1999 年度以降、神奈川県で登録した選手・役員の情報を蓄積しています。個人情報管理する部署として守秘義務等、十分な配慮を行って処理しています。

## 2 医事委員会

日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会等に積極的に取り組み、専門医師の養成とケガの防止に力を入れています。

2019 年度の医事委員会の活動としましては、アジアリーグをはじめとして神奈川県内で開催される各カテゴリーの大会のメディカルサポートを行いました。

しかしながら、昨年 9 月に行われた第 67 回神奈川選手権の試合中に於いて、ラインズマンの方が心肺停止となり、その後、搬送先の病院で亡くなられるという事案が発生いたしました。健康増進のため、生涯スポーツとしてアイスホッケーをプレーされている選手・レフェリーの方も多くいらっしゃると思います。アイスホッケーは循環器系・呼吸器系へのストレスが大きく、特に中高年の選手・レフェリーにおかれましては、日頃より健康管理および体調維持に注意をお願いいたします。

また、本年度当委員会では、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、医療情報の提供や啓蒙活動を行いつつ、選手・オフィシャル・観客など関係者の方々が安全にプレーできる環境の整備に尽力したいと考えております。皆様には手指衛生の徹底や密閉・密集・密接の 3 つの”密”を避けることなど、ご協力をお願いすることも多くなるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 3 会計委員会

- (1) 各委員会別に予算を配分し、それに基づいた予算支出の総合管理は引き続き有効に機能しています。現在の予算枠残高は各委員会担当理事により、その用途管理が行われています。会計委員会は支出される内容が会計規則に則って正しく運用されているかを確認し、また、各チームの協力を得て収支を改善し、財務の適正管理を行っています。
- (2) 会計処理(入金と支出)の日常的な処理および会計業務の正確且つ迅速な処理ができるよう体制を強化し、各チーム残高についても、月 1 回以上の更新を心がけます。

## 4 広報委員会

### (1) 広報委員会の活動

“正確な情報を迅速に”という基本理念のもとに、2001 年 10 月 20 日に立ち上げ、2020 年 5 月 8 日現在、トップページアクセス数は 6,051,005 件に達しています。

広報委員会では本ホームページは「連盟加盟者によって育まれるべき」という考えを持っています。みなさんからの情報投稿や写真(トップ画面に使用)の提供を強く歓迎いたします。

また、各チームにあっては、引き続き [www.kihf.net](http://www.kihf.net) を連盟からの重要事項の伝達手段として活用してもらうよう、定期的な閲覧と掲示情報の確認をお願いします。

### (2) 成果

県連加盟チームだけではなく、不特定多数の日本中の方々へ情報提供が可能となり、アイ

スホッケーファン拡大に効果を見せています。現在、県内各大会の試合結果は概ね翌日の午前中に、県外大会も遅くとも大会終了後早急な掲載を心がけています。

また、各チームへの周知事項を HP 上で公開することにより今までは代表者への e-mail でしか配信できなかった情報が代表者以外のメンバーにも伝達が可能となり、情報をより確実に、チームに伝えることができるようになりました。

### (3) 課題

HP は情報が最新であり、確実なものであることが求められます。つまり、更新はタイムリーに行う必要があります。専従職員のいない広報委員会では、自身から情報を収集することができません。試合結果の迅速な更新はひとえにオフィシャル当番による正確で、すばやい送信が不可欠です。情報をタイムリーに HP に反映するためにも大会運営担当者、大会参加者の深い理解と協力をお願いします。

また、専門知識を持った人材が今現在、広報委員会には不足しております。県連登録者やその知人の方で、HP 運営にボランティアで協力いただける方の応募をお待ちしております。

一昨年度から若干のデザイン変更を行い、バナー広告欄を追加しました。まだ数ヶ所の空きがありますので、是非広告掲載の検討を宜しくお願い致します。

## 5 審議委員会・懲戒委員会

### (1) 審議委員会事項

2019 年度の審議委員会において「選手の 2 重登録」の審議を行い、関係者への処分を行いました。

横浜 JETS「Face off システム担当者」は、ID を持ち、経験者である前提でシステム操作しながら「該当者なし」となった時点で「入力した内容に間違いがある」ことに至らず、「新規登録」に移行してシステム操作をした結果、新たな ID が発行され 2 重登録が発生しました。

本来、2 重登録は厳しい処分の対象となりますが、対象者が公式戦に出場していないこと、Face off システム担当者がシステム操作に不慣れであったことによる過失と判断し、嚴重注意処分としました。

再発防止について、今後チームへの加入に当たり経験者であるか、他チームに所属したことがあるか(他県連大会出場経験等)を確認し、疑問が生じた場合は県連に問合せを行うことを指導しました。

### (2) 懲戒委員会事項

第 75 回国民体育大会神奈川県予選会は無事終了しましたが、第 67 回神奈川選手権大会につきましてはコロナウイルスの影響で 5 試合が中止になりました。

2019 年度の懲戒処分は、以前よりも少ない状態を保っております。これは各チームの監督・指導者及び選手皆さんのルール遵守意識の向上と思われます。今後の大会においてもルールを守り、フェアプレー精神でより一層楽しい試合を行いますようお願いいたします。

(懲戒及び処分一覧 参照)

しかしながら、追加処分に該当するナルティがまだまだ生じております。またオンアイスオフィシャルに対しての抗議・暴言が一部で見受けられます。従いまして監督(ベンチ入り役員)、指導者は選手に対して抑止力のある役員のベンチ入り指導を今後もよろしく願いいたします。

## 6 強化委員会

### (1) 成年強化について

2019 年度も例年より早く強化練習を開始しました。

代表メンバーは、日本体育大学・慶應大学・東海大学の学生を中心にしたメンバーで臨みま  
した。

1 回戦に同じ関東ブロックの茨城県と対戦し、2P 終了時で 3-0 とリードしていましたが、3P  
に同点に追いつかれ、オーバータイムでも決着が付かず、PSS7 人目までもつれましたが残念  
ながら敗退しました。

本年度は、ブロック予選突破が必須になりますので、昨年度以上に強化していきたいと思  
います。

### (2) 大学(2 種)強化について

各大学のレベルにあった試合(大量得点差のゲームを無くす)を目的とし、県内一強である  
神奈川大学とその他 3 校を分けて強化試合を組みました。

- ① 神奈川大学は国体予選会(成年)に組み入れることで強化を図りました。
- ② 横浜国立大学、東海大学医学部、聖マリアンナ医科大学は 3 校で強化試合を組みました。

その他、連盟所属大学チームの県外活動では、

- ③ 関東大学リーグ戦と選手権大会(東京都連主催、神奈川県連共催)に 3 校が参加  
関東大学リーグ戦 結果、

ディビジョン I B 6 位 神奈川大学 (入替戦勝利 ディビジョン I B に残留)

ディビジョン III 2 位 横浜国立大学 (入替戦勝利 ディビジョン II に昇格)

ディビジョン V 4 位 聖マリアンナ医科大学

関東大学選手権 結果

A グループ 11 位 神奈川大学

- ④ 東日本医科学生総合体育大会(東医体)に 2 校が参加

東海大学医学部 B リーグ 3 位

聖マリアンナ医科大学 C リーグ 3 位

- ⑤ 第 20 回大学アイスホッケー交流苫小牧大会 2nd ステージに神奈川大学が参加

- ⑥ 第 92 回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ) 2nd ディビジョンに神奈川大学が参加

- ⑦ 関東国公立大学アイスホッケーリーグ戦に横浜国立大学が参加

神奈川県国体選手に県内大学チームから選手を送り込むことが、大学強化の目標です。

しかし、昨今のチームの課題は選手数の確保で、各大学とも苦慮を続けております。競技人  
口を増加させるためにも、強化の一環として他府県連盟所属大学との交流戦や県内の一般チ  
ームと交流し、強化試合を行います

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止により大学のカリキュラム変更で、各大学の部活動  
時期が未定となっています。早期に活動再開出来る事を願います。

### (3) 少年(高校生)強化について

“関東ブロック予選突破、そして国体優勝！”を目標にチーム作りを進めてまいりました。9月に開催された国体県予選で優勝した慶應義塾高校を中心に、県内の高校生選手による選考会を経て25名の選手を選抜し10月から強化練習を行い、さらに12月までの練習の中で代表選手16名を選考し、チーム作りを行いました。

伊香保町で行われた関東ブロック予選は、リーグ戦で東京都に敗戦したものの山梨県に大差で勝利し、最終日の茨城県との代表決定戦につながりました。失点を最小限に抑えて主導権を譲らないこと、どんな状況でも我慢をして勝利に執着することを確認して戦いました。

試合は予想通り第1ピリオドから均衡した展開となりました。どちらも大きな決定機を生み出せないまま試合が進みましたが、第2ピリオドに2人多いパワープレーのチャンスを得ると僅かな隙を突いて1点を先制。そのまま第2ピリオドを終えました。第3ピリオドは押される展開となりましたが、試合前に確認した「我慢」を徹底し、1-0で勝ち4年連続となる本大会への出場権を獲得しました。

本大会は青森県八戸市で行われました。1回戦の愛媛県、2回戦の福岡県との試合は危なげなく勝つことができました。

準決勝の北海道との試合では第1ピリオドこそ0-0で終わることができたものの、第2ピリオド以降は実力差を見せつけられ敗戦。3位決定戦は関東ブロック予選で敗れた東京都と再戦することとなりました。序盤にパワープレーを生かして先制点を挙げることはできましたが、その後は見せ場がなく再び敗れました。結果的には2年振りに第4位に入賞して大会を終えました。

本大会はくじ運にも恵まれ、苦しい関東予選を勝ち抜いたからこそその結果でもあります。要所となる試合では、どんな内容であれ勝ちに執着することが必要であり、そこにピークを持っていくことが大切だと実感しました。また、3年生が4名しかおらずチーム作りには不安がありましたが、しっかり纏まることができたことも良かった点です。しかし、本大会で第3位以上を目指すには、スキルがまだまだ足りません。北海道との試合でスコアリングチャンスがあったにも関わらず生かせなかったことは非常に悔いが残ります。

オフシーズンの練習は各チームにて取り組むこととなりますが、個人スキルの向上を目標に取り組んで欲しいと思います。さらにチームの規律を守ることができるかどうかチームの成績に影響するため、スキルの高い選手とメンタルの強い選手を1人でも多く育てることが求められます。

県内の各大会につきましては、慶應義塾高校と武相高校の2チームでの開催となっております。ここ数年で全国的に見ても高校カテゴリーの選手数は減っていると思われます。高校生チームとしてアイスホッケー界の発展にどのように貢献していくか、これも課題の一つです。

### (4) ジュニア強化(小・中)/一貫指導強化委員会について

強化委員会では、県スポーツ協会の競技力向上対策事業ジュニア強化助成金を活用し、6~7月、11~3月の毎週月曜日20:45~22:15に小学生強化、10月~3月の毎週火曜20:45~22:15を中学生強化としてジュニア強化練習を行っています。

今年度は、小中学生の全日本少年大会が新型コロナウイルスの影響により中止になりました。そのため3月の第2週をもってジュニア強化練習(選抜事業)を終了としました。

近年、小中学生の個人スキルは向上しておりますが、チームで戦うにはプレーの質の向上、いわゆる「ホッケーIQ(=状況把握・状況予測 ⇒ 状況判断 ⇒ 実行)」の向上が急務です。

そのためには、

- ① 小学生低学年のうちに各チームでスケータリングの基礎を重視して取り組まなければなりません。チームスタッフの中には、選手たちが飽きたら基礎練習について来ないなどの懸念もあるかと思いますが、高学年・中学生になってから満足にスケータリングできないと、県内では通用しても全国大会では何もできない選手になってしまいます。
- ② 高学年からは、基本的なディフェンス、オフェンス、アタックスピード、バックチェックの練習を通じて「状況把握・状況予測 ⇒ 状況判断 ⇒ 実行」の「ホッケーIQ」を育成していかなければなりません。選抜チームでは、関東ブロック予選・全国大会等で戦えるようなシステム構築に取り組んでいければと考えます。
- ③ 中学生については、全国大会等でも良いゲームができるようになりましたが、勝つ事ができない状況です。勝つためには「体力(タフネス)」と「考える(シンキング)」と「ホッケーIQ」が必要です。

チーム練習には限りがありますので、選手個人が生活時間の中で「どのような目標を立て、シーズンを迎えるか？」を考えさせるヒントを、スタッフから与えて頂き、各チームでゲーム経験を与えていく。

- ④ 全国大会は 20 分×3P のゲームタイムだが、リンク事情により神奈川県内や他県大会でも 1P15 分という制約を受けます。  
普段からの体力的にタフな練習は、同じくリンク練習時間が限られるので、個人個人での陸上トレーニングの課題を与えて頂きたくお願いします。
- ⑤ 中学生はパスレシーブの精度の低さを感じます。スティックも進化している状況です。  
パスレシーブの徹底とプレースピードの強化を、選抜スタッフも含めて各チームのスタッフと一緒に考えていきます。

神奈川県選抜チームがこれからも発展して行くには、各チームでの練習と週 1 回の選抜強化練習という限られた練習時間でやらなくてはなりません。各チームスタッフと選抜スタッフと一緒に、選手たちのため考えて、行動していきたいと思えます。

#### (5) 女子強化について

女子強化委員会としては、【小学生】ジュニアレディース長野大会優勝、【中高生】日光杯全日本女子中高生大会ベスト 4、【女子】全日本女子(B)優勝を目指して活動しておりますが、例年練習枠を確保する事が困難で、思うような活動を進めることが厳しい状況です。

#### 【小学生】

ジュニアレディース長野大会は、3月21日～22日に軽井沢風越公園アイスアリーナにて開催される予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

小学生女子は中学生への進学時期にアイスホッケーから離れたたり、男子と一緒にいることが体力的にもきつくなり、続けていくのに悩んでしまうことが多い時期ですが、中高生の日光杯へと繋がっていく大事な事業なので今後も続いて行って欲しいところです。



## 【中高生】

JOCジュニアオリンピックカップ大会 第14回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会は、千葉県4名・山梨県4名・埼玉県7名・神奈川県1名の16名で参加しました。予選リーグ1回戦岩手県選抜戦は14-2で快勝し、2回戦苫小牧選抜に1-20で負け、得失点差により決勝トーナメントに進出なりませんでした。下位トーナメント1回戦北信越選抜と4-2で勝利し、岩手県選抜と再戦し8-0でまたも快勝しました。最終戦兵庫県とは0-3で敗れてしまいました。主力選手の高校3年生が受験で一人も参加出来なかつたなか頑張ったとは思いますが、今後も高校2年生以下が主力選手となれるような底上げと、今回神奈川県からの参加が1名しかいなかったのも、今後も選手の確保が課題となります。

## 【女子】

全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)に関しては、関東ブロック代表としてハセガワウィッチーズが出場し、1回戦で真駒内レディースアイスホッケークラブに5-1で勝利し、2回戦でFLORE TORSPOに0-2で惜敗しました。

依然として選抜チームとしての合同練習の時間確保が厳しい状態に変わりはありません。また、競技人口の減少が見られ、他県との合同チームとしての参加も続けていかなければなりません。神奈川県内の女子選手達が他都県に移籍しなくてもホッケーを続けていきたいと思える環境を作りたいと思います。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 7 競技委員会

2019年度の大会は、第67回神奈川県アイスホッケー選手権を41チームの参加で、前年度に引き続き、当該年度中に完了させることとし、期間途中に第75回国民体育大会神奈川県予選会を実施しました。

今期からの新規加盟2チームについて、大会が円滑に進むようオフィシャル講習会を実施、初回実践では競技委員会担当理事を中心にサポートさせて頂きました。

第75回国民体育大会神奈川県予選会は、A pool 8チーム、B pool 34チームの構成とし、新規加盟2チーム及び神奈川大学を迎え、熱戦を展開しました。

しかしながら、第67回神奈川県アイスホッケー選手権は新型コロナウイルスのリスクを回避するため、神奈川県スポーツ協会及び日本アイスホッケー連盟の自粛要請もあり、5試合を残し中止せざるを得ませんでした。

もちろん県連各委員会は予定した事業を完結するため努力しており、第67回神奈川県アイスホッケー選手権は148試合のうち143試合を消化(96.6%)しており、競技委員会としても中止は苦渋の決断でありました。緊急事態宣言による外出自粛・3密回避が何時解除されるか見通しが立たない中で、第67回選手権として最終順位を確定し、第68回選手権に引き継いでいきます。

尚、選手権・国体県予選とも横浜銀行アイスアリーナをメインの会場とし、KOSÉ 新横浜スケートセンターで確保した枠を各部にできるだけ公平に割り当てることを考慮して試合日程を組んでおり、2020年度も踏襲の予定です。

横浜銀行アイスアリーナのスコアボードは、試合ごとにオフィシャル当番チームが操作機器の設置・片付けを行う必要があります。課題は引き続き大切に、慎重に使用して頂くことです。特に操作盤の電源アダプタや接続部のケーブル類は、複数回交換しております。接続部のケーブル破断は、慎重に扱えば起こらないことです。オフィシャル当番チームにあつては十分注意して取り扱いをお願いいたします。

第 68 回神奈川県アイスホッケー選手権及び第 76 回国民体育大会神奈川県予選会は、2020 年 9 月初旬から開始し、年度内に終了する予定で計画しています。

横浜銀行アイスアリーナの貸し切り・F 区分(22:30~24:00)を、横浜銀行アイスアリーナの抽選会以前に県連として確保し、加盟チームに配分しています。2019 年 11 月 3 日に行った配分打ち合わせ会では、県連主催大会開催枠を先行確保し、空き枠を打ち合わせ会に参加した加盟チームに抽選で渡しました。大会枠・チームの練習枠が夜間・深夜帯に限られる状況で、少しでも加盟チームの利益につながるよう今後も継続していきます。

## 8 普及委員会

### (1) 小・中学生・女子の普及について

神奈川スケートリンク再整備を契機に、ジュニアおよび女子選手の健全なる育成を目標に交渉し、横浜市スポーツ協会のご理解を得て始まった横浜銀行アイスアリーナの貸し切り利用受託は、県青少年保護育成条例に基づく高校生の 22 時帰宅制限のため、今年度から毎週月曜日の E 区分(20:45~22:15)高体連枠と毎週火曜日のジュニア強化枠 D 区分(19:00~20:30)を交換しました。

これを県体協競技力向上対策事業のジュニア強化練習(小・中学生)や、各ジュニアチーム、女子チーム、高校生へ貸与しております。

普及委員会では、所属チームのご理解ご協力の下、リンク代の集金・支払い業務を普及委員会で担い、横浜市スポーツ協会・横浜銀行アイスアリーナへの毎月末締め翌月 5 日払いを完全履行しております。

また、春秋大会の大会参加費の事前振込みも完全履行されており、当委員会内では未収金はありません。

5 年間に及ぶこの実績が、横浜銀行アイスアリーナと、春夏大会開催をお願いしている銀河アリーナとの絶大なる信頼関係を築き上げていることをご報告すると共に、所属チーム各位のご尽力に感謝申し上げます。

小学生低学年の U9 クロスアイスは減免措置を頂き、春季・秋季共に横浜銀行アイスアリーナで開催しました。ミニゴール 2 セットとブルーライン上に敷設するパーティション(2×4 角材)を、同リンク倉庫に無料保管させて頂き、これら資材の運搬経費を削減しております。

一方、今年度も大会参加費の軽減のため、春季小中学生・女子および秋季小中学生神奈川県選手権大会を、リンク再整備延期による事業延長となった相模原市銀河アリーナで開催しました。

また今年度は、3月14日(土)～15日(日)KOSE 新横浜スケートセンターにて、第8回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会【太陽生命 U9 ジャパンカップ 2020】を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑み、主管団体として開催中止を日ア連に申し入れ、大会開催を中止しました。

関東各県連のご協力を得て開催を予定していたため、できれば来年度も新横浜で開催したいと考えております。

現在、5チームの小学生・中学生チームと4チームの女子チームが活動していますが、実態としては合同チームを結成しなければ大会参加できない状況が続いております。

今後も県スポーツ協会や横浜市スポーツ協会と協同し、ジュニアチームの活動や県内大会開催を様々な媒体を通じ紹介し、選手の開発と育成に寄与して参りたいと思います。

## (2) インラインホッケーの普及について

2019年度の登録状況は男子登録 2 チーム(STIGA・maffick)、女子登録 3 チーム(Team SONIC・team maffick・peanuts)となり、チーム数などに変更はありません。

2019年6月2日に開催された第22回関東インラインホッケー選手権は、上記5チームが参加し、男子BプールはSTIGAが優勝、準優勝 maffick、女子Lプールは優勝 Team SONIC、準優勝 team maffick、3位 peanuts と上位を独占しました。

2019年7月20～21日に兵庫県で開催された第22回全日本インラインホッケー選手権大会で男子BプールはSTIGAが優勝、準優勝 maffick、女子Lプールは優勝 Team SONIC、準優勝 team maffick、peanuts も4位入賞を果たしました。

神奈川には、フルリンクなどの設備がなく、活動が制限されている状況は残念なことではありません。さらに関東での地方予選でもレフリー不足は深刻であり、今後のレフリー講習会などを開催して幅広く人員を拡充していく必要があると思われまます。

永年神奈川で担ってきた関東ブロック委員長を、今年度より東京都連に依頼し、今後ともインラインホッケーの普及に尽力して参ります。

## (3) オールドタイマーの普及について

2019年度は春に4チームで5試合、夏に2チームで1試合の大会を行うことができました。現状では精一杯の事業を行いました。現在、神奈川県内のチーム状況は日ア連登録チームが1チーム、日ア連未登録で県内活動に留まっているチームが3チーム、チーム作り中が1チームとなっています。

今後の発展への課題として

### [日程の課題]

未登録3チームの選手はほとんど社会人チームに所属しているため、所属社会人チームが大会に出場している9月から翌年3月まではオールドタイマーとの両立は難しい。これを避けると4月から8月の間しかオールドタイマーの活動期間がなく、一大会しかできない。

### [日ア連正式登録の課題]

社会人チームに所属している選手はすでに個人登録費を払っており、オールドタイマーでの登録はさらに負担がかかることになり、これが正式登録への大きな壁となっている。今後シニアリーグが発展するためには県連の公式戦として認められる必要があり、日ア連チ

ーム登録が必須となります。各選手の理解を深め、上記の課題を解決しつつ、オールドタイマーの事業を活発にしていきたいと思えます。アイスホッケーを生涯スポーツと捉え、社会人大会からの引退がプレーの引退とならない環境をぜひ神奈川県に構築していきましょう。

## 9 レフェリー委員会

2019 年度は、全国の各種大会や県内の大会などが新型コロナウイルス感染拡大の影響で大会の中止や開催することが出来ずにシーズンを終える結果となりました。

ルールなどについては、大きな変更はなく昨シーズン同様に解釈の変更点などは有りましたが各カテゴリーとも大きな混乱もなく試合が行われました。

9 月には試合中にラインズマンが急病にて倒れ、意識も戻らないまま 59 歳で帰らぬ人となる事例が起こってしまいました。その際にいろいろとご尽力いただきました方々には、改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

2020 年度については、昨年の代議員会議案書にて予告させていただきました「各チームに日ア連公認レフェリーの配置、登録のお願い」を要請させていただきます。

神奈川県連所属の社会人、大学生、女子の各カテゴリー、各チームにレフェリー連絡員(仮称)としてレフェリー委員会へ登録をお願いいたします。

レフェリーの高齢化に伴う人員不足が進み近いうちに県内の各種大会、試合にレフェリーを 3 名派遣することが確実に出来なくなります。現在、神奈川県で日ア連公認レフェリー登録者は 2019 年で 27 名、他県からの応援者も含めて 30 名ほどで実働しています。

その中で年間 50 試合以上活動している方が 5 名、中には 70 試合を超える方もいます。仕事や諸事情を考慮しても、ひと月の中で 3 回以上吹いている方は 15 名になります。実働しているレフェリーは、チームの所属有無に関わらずプライベートを調整しながら対応していることが現状です。試合数に対して人員が十分ではなくシフトに偏りが生じています。

現状を踏まえて各チームにレフェリー連絡員(仮称)の登録を要請させていただく対象は、社会人、大学、女子の各カテゴリーです。

登録の条件は以下のとおりです。

- ・県連チームに所属されている 60 歳以下の方。
- ・日ア連公認レフェリーとしてのスキルを習得し活動できる方、すでにお持ちの方。
- ・最低 2 年間継続出来る方。

主な活動内容としては、

- ・ルールの解釈や毎年補正されるルールの変更点などをチームに説明をする。
- ・各大会のオフィシャル当番の際、氷上ラインズマンとして活動する。
- ・上記のオフィシャル当番以外でも本人希望日に氷上ラインズマンとして活動する。

以上が大枠の内容となります。

この内容にて活動状況が良くないレフェリー連絡員(仮称)については、所属するチームに交代のお願いをする場合や審議委員会において罰則を科す場合があります。ご理解の上、登録していただく方については、各チーム内でよく話し合いをしてください。

女子については、現在 2 名の公認レフェリーがいますが、近年の世情から 2 名では女子の大会、試合に対応できていないのが現状です。基本レフェリー連絡員(仮称)は、基本的に女子カテゴリー

の中で活動をお願いしますが、ジュニア(小学生)への対応も含めた参加をお願いすることも検討します。

現在チーム所属で個人的に日ア連公認レフェリーとして協力いただいている方についてはそのままレフェリー連絡員(仮称)へ移行していただく事は可能です。その際の登録条件は今回の条件を優先します。

今回、各チームからレフェリー連絡員(仮称)登録の有無について基本的に例外は作らないこととなりますので、御理解をお願いいたします。

講習会などについても氷上、座学ともに定期的に行い神奈川県レベル向上につなげ各チームがルールの適正運用に役立てていけることを目標にしていきます。

このレフェリー連絡員(仮称)の登録については、

2020 年度から始める事を前提に皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

神奈川県の各種大会や試合運営が円滑に遂行出来るように各チームにおかれましては趣旨をご理解の上よろしくお願いいたします。

## 10 日ア連事業について

### (1) アジアリーグアイスホッケーについて

2019-2020 シーズンは、新生加盟したひがし北海道クレインズのホームゲームとして王子製紙イーグルスとの 2 試合が開催されました。

加盟団体の皆様に臨時代議員会書面決議により加盟承認された横浜 GRITS は、3 月に日ア連での審査を経てアジアリーグ参戦の推薦を受け、4 月にアジアリーグ総会にて審査を行い現在審査継続中です。

県連としても、少しでも早く情報を把握し、2020-2021 シーズンに 1 試合でも多く誘致できる体制で臨もうと思います。

### (2) 2019 年度から「日本アイスホッケー連盟会長杯」は「全日本アイスホッケー選手権大会(B)」に大会名が変更となり、青森県八戸市で開催される予定で、本県からはチームハセガワ B が関東ブロック代表として参加を予定しましたが、新型コロナウイルスの影響により大会が中止になりました。

### (2) J-ICE について

昨年同様、愛知県名古屋市で開催されましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

## 2019 年度事業報告

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

## 【理事会】

1	事業名	2018 年度 第 11 回理事会		
	期 日	2019/4/10	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	2018 年度 第 12 回理事会		
	期 日	2019/5/8	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
3	事業名	75 回国民体育大会関東ブロック大会に係る競技団体説明会		
	期 日	2019/5/10	会 場	県立スポーツ会館
4	事業名	第 1 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2019/5/18	会 場	群馬県
5	事業名	2018 年度 第 13 回理事会		
	期 日	2019/6/12	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
6	事業名	2019 年度 代議員会		
	期 日	2019/6/30	会 場	県立スポーツ会館
7	事業名	2019 年度 第 1 回理事会		
	期 日	2019/6/30	会 場	県立スポーツ会館
8	事業名	2019 年度 第 2 回理事会		
	期 日	2019/7/13	会 場	ホフブロウ
9	事業名	2019 年度 第 3 回理事会		
	期 日	2019/8/7	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
10	事業名	2019 年度 第 4 回理事会		
	期 日	2019/9/11	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
11	事業名	第 2 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2019/9/14	会 場	群馬県
12	事業名	2019 年度 日ア連定時評議員会		
	期 日	2019/9/22	会 場	JSOS 14 階
13	事業名	2019 年度 第 5 回理事会		
	期 日	2019/10/9	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
14	事業名	2019 年度 第 6 回理事会		
	期 日	2019/11/13	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
15	事業名	2019 年度 第 7 回理事会		
	期 日	2019/12/11	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
16	事業名	2019 年度 第 8 回理事会		
	期 日	2020/1/10	会 場	ホフブロウ
17	事業名	第 75 回国体関ブロ神奈川県実行委員会設立総会・第 1 回総会		
	期 日	2020/2/10	会 場	かながわ労働プラザ
18	事業名	2020 年度 第 9 回理事会		
	期 日	2020/2/12	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
19	事業名	2019 年度 第 10 回理事会		
	期 日	2020/3/11	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター



6	事業名	第 31 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日	2019/11/23	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	優勝:新横浜ジュニア A、準優勝:アイリンズ		
7	事業名	第 8 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2020)関東ブロック予選		
	期 日	2020/2/9	会 場	群馬県前橋市
	内 容	予選リーグ敗退、開催地枠出場		
8	事業名	第 8 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2020)		
	期 日	2019/3/14~15	会 場	神奈川県横浜市
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		

## 【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第 22 回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日	2019/6/2	会 場	細尾ドームリンク
	内 容	B pool 結果:優勝 STIGA、準優勝 maffick L pool 結果:優勝 Team SONIC、準優勝 team maffick、3 位 peanuts		

## 【普及委員会(オールドタイマー)】

1	事業名	春季シニアリーグ		
	期 日	2019/4/5~6/22	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	4 チーム参加 (ヨコハマベイクラシックス、ソニーライジング、チームハセガワ、プレツァヨコハマ)		
2	事業名	オールドタイマー合同練習		
	期 日	2019/5/3・8/9	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容			
3	事業名	夏季シニア交流戦		
	期 日	2019/8/31	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	2 チーム参加 (ヨコハマベイクラシックス、ソニーライジング)		

## 【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB 杯争奪 第 22 回 全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日	2019/7/25~28	会 場	北海道苫小牧市 白鳥アリーナ
	内 容	6 位		
2	事業名	令和元年度関東中学校アイスホッケー大会兼第 40 回全国中学校アイスホッケー大会関東代表決定戦		
	期 日	2019/11/23~24	会 場	栃木県日光市
	内 容	予選突破、本戦出場権獲得		
3	事業名	第 40 回全国中学校アイスホッケー大会		
	期 日	2020/1/17~19	会 場	北海道苫小牧市
	内 容	1 回戦敗退		
4	事業名	第 15 回 風越カップ全日本少年アイスホッケー大会		
	期 日	2020/2/15~16	会 場	茨城県
	内 容	予選リーグ突破、本大会出場権獲得		



5	事業名	第 14 回 全日本少年アイスホッケー大会(中学の部)		
	期 日	2019/3/24~29	会 場	北海道釧路市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
6	事業名	風越カップ第 15 回 全日本少年アイスホッケー大会(小学の部)		
	期 日	2019/3/25~29	会 場	長野県軽井沢
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		

## 【強化委員会(女子)】

1	事業名	第 24 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会		
	期 日	2019/11/23~24	会 場	埼玉アイスアリーナ
	内 容	ハセガワウィッチーズ出場 予選突破 本戦出場権獲得		
2	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会第 14 回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	2019/12/20~23	会 場	栃木県日光市
	内 容	10 位		
3	事業名	第 7 回ジュニアレディーズIH長野大会(小学生女子)		
	期 日	2020/3/20~21	会 場	長野県軽井沢
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
4	事業名	第 24 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)		
	期 日	2020/3/22~23	会 場	兵庫県神戸市
	内 容	ハセガワウィッチーズ出場 2 回戦敗退		

## 【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 67 回県選手権(高校の部)兼全国高校選抜大会代表選考会		
	期 日	2019/6/2	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	2-1 で武相の勝利。全国選抜大会出場		
2	事業名	第 75 回国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期 日	2019/9/7	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	慶應義塾高等学校 5-2 武相高等学校		
3	事業名	第 75 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2019/12/6~8	会 場	群馬県伊香保
	内 容	予選リーグ 神奈川県 0-5 東京都、神奈川県 18-0 山梨県 代表決定戦 神奈川県 1-0 茨城県 本大会出場権獲得		
4	事業名	第 75 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2020/1/28~2/2	会 場	青森県八戸市
	内 容	本選 結果 4 位 1 回戦 31-0 愛媛県、2 回戦 11-0 福岡県、準決勝 0-9 北海道、3 位決定戦 1-4 東京都		

## 【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	期 日	2019/10/1・2・9	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	横浜国立大学・聖マリアンナ医科大学・東海大学医学部によるリーグ戦		

2	事業名	秩父宮杯 第 67 回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2019/4/6～6/9	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 Aグループ 11 位		
3	事業名	2019 年度 関東大学アイスホッケーリーグ戦		
	期 日	2019/8/31～12/15	会 場	ダイドードリンコアイスアリーナ、東大和スケートセンター
	内 容	神奈川大学 Div. I -B 6 位 横浜国立大学 Div. III 2 位 聖マリアンナ医科大学 Div. V 4 位		
4	事業名	第 92 回 日本学生氷上競技選手権大会（釧路市）		
	期 日	2019/12/25～29	会 場	釧路市
	内 容	神奈川大学		
5	事業名	第 20 回 大学アイスホッケー交流戦 苦小牧大会		
	期 日	2019/8/28～9/1	会 場	苦小牧市白鳥王子アイスアリーナ、他
	内 容	神奈川大学 セカンドステージ 3 位		
6	事業名	第 62 回 東日本医科学生総合体育大会		
	期 日	2019/12/25～30	会 場	札幌市真駒内アイスアリーナ
	内 容	東海大学医学部 Bグループ 3 位 聖マリアンナ医科大学 Cグループ 3 位		

## 【強化委員会(成年)】

1	事業名	第 75 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 関東ブロック予選		
	期 日	2019/12/6～8	会 場	群馬県
	内 容	確定戦		
2	事業名	第 75 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2020/1/28～2/2	会 場	青森県八戸市
	内 容	1 回戦敗退		

## 【レフェリー委員会】

1	事業名	レフェリークリニック		
	期 日	2019/9/8 or 10/6	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容			

## 【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	U16 ブロックキャンプ(イーストブロック)		
	期 日	2019/10/13～14	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容			
2	事業名	AL キッズキャンプ		
	期 日	2019/11/22	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容			
3	事業名	AL イーグルス vs クレイズ		
	期 日	2019/11/23・24	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容			

## 2020 年度事業計画

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)

## 【理事会】

1	事業名	2019 年度 (4-6 月)理事会		
	期 日	各月第 2 水曜開催	会 場	未定
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため中止		
2	事業名	2020 年度 代議員会		
	期 日	2020/6/28(予定)	会 場	未定
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため書面開催		
3	事業名	2020 年度 理事会		
	期 日	各月第 2 水曜開催	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター・その他
4	事業名	関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	年 3 回程度開催	会 場	幹事は千葉県ア連が担当
5	事業名	2020 年度日ア連評議員会		
	期 日	未定	会 場	未定

## 【競技委員会関係】

1	事業名	第 68 回県選手権 幹事チーム引継ぎ		
	期 日		会 場	
2	事業名	第 68 回県選手権・第 76 回国体県予選会 監督会議		
	期 日		会 場	
3	事業名	第 68 回神奈川県アイスホッケー選手権大会(成年)		
	期 日	2020/9/3~2021/3/28	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
4	事業名	第 76 回国体県予選会 B pool 組合せ抽選会		
	期 日		会 場	
5	事業名	2021 年前期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日		会 場	
6	事業名	第 76 回国体神奈川県予選会(成年の部)		
	期 日		会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
7	事業名	2021 年後期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日		会 場	

## 【普及委員会(小・中・女子)】

1	事業名	第 31 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2020/4/18~19	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		
2	事業名	第 31 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日	未定	会 場	未定
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		
3	事業名	第 32 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会		
	期 日	未定	会 場	相模原市銀河アリーナ

4	事業名	第 32 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日	未定	会 場	未定
5	事業名	第 32 回横浜市長杯兼第 25 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)神奈川県予選会		
	期 日	2020/10/5~26	会 場	横浜銀行アイスアリーナ

## 【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第 23 回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日	2020/5/30	会 場	仙台
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		

## 【普及委員会(オールドタイマー)】

1	事業名	春季シニアリーグ		
	期 日	2020/4/11~5/23	会 場	ハマ銀アリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		
2	事業名	シニアリーグ		
	期 日	2020/7/18、8/1・22	会 場	ハマ銀アリーナ

## 【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB 杯争奪 第 23 回 全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日	未定	会 場	北海道苫小牧市
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		
2	事業名	R2 年度関東中学校アイスホッケー大会 兼 第 41 回全国中学校アイスホッケー大会関東代表決定戦		
	期 日	未定	会 場	未定
3	事業名	第 16 回 風越カップ全日本少年アイスホッケー大会関東ブロック予選会		
	期 日	未定	会 場	茨城県
4	事業名	第 15 回 全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)		
	期 日	未定	会 場	北海道釧路市
5	事業名	第 9 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2021)関東ブロック予選		
	期 日	未定	会 場	群馬県前橋

## 【強化委員会(女子)】

1	事業名	第 25 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会		
	期 日	未定	会 場	埼玉県上尾
2	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第 15 回 日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	2020/11/20~23 予定	会 場	栃木県日光市
3	事業名	第 25 回 全日本女子アイスホッケー選手権(B)		
	期 日	未定	会 場	未定
4	事業名	第 8 回 ジュニアレディーズアイスホッケー長野大会		
	期 日	未定	会 場	長野県軽井沢市

## 【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 68 回神奈川県アイスホッケー選手権大会(高校生の部)		
	期 日	2020/6/4	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		

2	事業名	第76回国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期日	2020/9	会場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
3	事業名	第76回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期日	2020/12/18~20	会場	横浜銀行アイスアリーナ
4	事業名	第76回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期日	2021/1/27~1/31	会場	愛知県

## 【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	期日	未定	会場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	秩父宮杯第68回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期日	2020/4/6~6/9	会場	ダイードリンクアイスアリーナ
	内容	新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止		
3	事業名	2020年度関東大学アイスホッケーリーグ戦		
	期日	未定	会場	ダイードリンクアイスアリーナ, 東大和スケートセンター
4	事業名	第21回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会		
	期日	未定	会場	未定(苫小牧市)
5	事業名	第63回東日本医科学生総合体育大会 アイスホッケー競技		
	期日	2020/12/25~12/30	会場	
6	事業名	第93回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)		
	期日	未定	会場	

## 【強化委員会(成年)】

1	事業名	第76回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期日	2020/12/11~13	会場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	第76回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期日	2021/1/26~31	会場	愛知県名古屋市

## 【レフェリー委員会】

1	事業名	レフェリークリニック		
	期日	2020/8/8、9/20	会場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	日ア連関東レフェリークリニック		
	期日	2020/未定	会場	

## 【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	AL キッズキャンプ		
	期日		会場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	アジアリーグミニ集結		
	期日		会場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
3	事業名	アジアリーグ 横浜 GRITS ホームゲーム		
	期日		会場	KOSÉ 新横浜スケートセンター

登録者数	アイスホッケー		インラインホッケー		合計
	役員数	選手数	役員数	選手数	
2000年度	105	1,670	0	156	1,931
2001年度	143	1,662	0	136	1,941
2002年度	165	1,760	2	132	2,059
2003年度	164	1,765	7	156	2,092
2004年度	170	1,841	6	156	2,173
2005年度	198	1,788	1	114	2,101
2006年度	223	1,797	3	35	2,058
2007年度	302	1,747	0	17	2,066
2008年度	262	1,865	1	42	2,170
2009年度	260	1,743	1	14	2,018
2010年度	260	1,683	6	27	1,976
2011年度	241	1,564	6	30	1,841
2012年度	197	1,674	10	42	1,923
2013年度	199	1,489	10	60	1,758
2014年度	210	1,319	13	75	1,617
2015年度	187	1,234	16	82	1,519
2016年度	205	1,290	18	79	1,592
2017年度	177	1,215	14	76	1,482
2018年度	196	1,207	15	77	1,495
2019年度	199	1,310	18	86	1,613
2018～2019 増減	3	103	3	9	118

カテゴリー	種別	年度	チーム	役員数	選手数
インライン ホッケー	一般	2011	1	2	16
		2012	1	3	15
		2013	2	3	28
		2014	2	4	31
		2015	2	7	38
		2016	2	7	32
		2017	2	5	33
		2018	2	3	39
		2019	2	9	43
		女子	2011	1	4
	2012		2	7	27
	2013		2	7	32
	2014		2	8	42
	2015		3	9	44
	2016		3	11	47
	2017		3	9	43
	2018		3	12	38
	2019		3	9	43

カテゴリー	種別	年度	チーム数	役員数	選手数	
アイス ホッケー	一般	2011	45	130	1,016	
		2012	44	103	1,138	
		2013	42	112	1,007	
		2014	41	113	924	
		2015	42	100	858	
		2016	40	121	884	
		2017	40	99	803	
		2018	39	94	781	
		2019	42	106	871	
		大学	2011	4	36	58
			2012	4	21	69
			2013	3	20	59
			2014	3	29	62
			2015	4	35	71
			2016	4	32	79
			2017	4	25	80
			2018	4	39	79
			2019	4	35	92
			高校	2011	3	23
	2012	3		8	68	
	2013	3		9	68	
	2014	3		16	69	
	2015	3		11	53	
	2016	3		17	51	
	2017	3		9	48	
	2018	3		7	42	
	2019	3		11	44	
	中学	2011	6	13	89	
		2012	7	18	88	
		2013	7	12	69	
		2014	6	17	55	
		2015	5	18	54	
		2016	5	8	51	
		2017	5	8	55	
		2018	5	12	57	
		2019	5	4	65	
	小学	2011	6	28	170	
		2012	7	38	146	
		2013	7	36	139	
		2014	5	22	124	
		2015	5	13	108	
		2016	5	18	128	
		2017	5	26	141	
		2018	5	28	147	
		2019	5	30	136	
女子	女子	2011	5	11	57	
		2012	4	8	69	
		2013	4	10	58	
		2014	4	13	62	
		2015	3	10	47	
		2016	3	9	54	
		2017	3	10	45	
		2018	4	16	58	
		2019	4	13	60	
		オールド	2011	2	0	54
	2012		2	1	36	
	2013		1	0	35	
	2014		1	0	23	
	2015		1	0	43	
	2016		1	0	43	
	2017		1	0	43	
	2018	1	0	43		
2019	1	0	42			

## 2019年 レフェリー派遣一覧

		内 容			
1	事業名 期日・会場 内容等	・日本アイスホッケー連盟主催 関東ブロックレフェリークリニック 2019年8月24日・25日 アクアリンクちば 千葉県主催 参加者7名 佐々木・桑田・吉田・畑中・鎌田・佐久間・廣瀬			
2	その他派遣 事業	期 日	大会名	開催場所	派遣人数
		<b>2019年</b>			
		11月 2日～ 3日	第23回 伊香保カップ(高校生)	伊香保(群馬県)	2名 鎌田・佐々木
		11月 7日～10日	第7回 日本学生女子I・H大会	盛岡・花巻(岩手県)	1名 桑田
		11月23日～24日	第41回 全国中学関東予選	日 光(栃木県)	1名 鎌田
		11月23日～24日	第24回 全日本女子B関東予選	上尾(埼玉県)	1名 桑田
		12月 7日～ 9日	第75回 国体ブロック大会(成年)	伊香保(群馬県)	1名 中島
		12月 7日～ 9日	第75回 国体ブロック大会(少年)	伊香保(群馬県)	1名 鎌田
		12月21日～23日	第28回 関東高校選手権	日 光(栃木県)	2名 佐々木・山本
		12月21日～23日	第13回日光杯 全日本女子中学・高校生	日 光(栃木県)	1名 桑田
		12月25日～29日	第92回 インカレ女子	釧 路(北海道)	1名 桑田
		<b>2020年</b>			
		1月11日～13日	第44回 関東少年 小学生	日 光(栃木県)	畑中・木村・福田
		1月25日～26日	第44回 関東少年 中学生		鎌田・下山・福田
		1月16日～19日	第40回 全国中学校体育大会	苫小牧(北海道)	派遣なし
		1月22日～26日	第69回 インターハイ	帯 広(北海道)	派遣なし
		1月29日～2月2日	第75回 青森国体 成年・少年	八 戸 (青森県)	3名 佐々木・桑田・福田
		2月 9日	第8回 U9関東予選会	高 崎(群馬県)	1名 立花
		2月15日～16日	第15回 風越カップ関東予選会	ひたちなか(茨城県)	1名 佐々木
		2月22日～24日	第24回 全日本女子選手権	神 戸・尼 崎(兵庫県)	1名 桑田
		以降の大会については新型コロナウイルス拡散防止のため中止となる。			
3	アジアリーグ				派遣なし

# 神奈川県アイスホッケー連盟規約

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この団体は、1976年（昭和51年）4月24日に神奈川県アイスホッケー連盟（KANAGAWA-KEN ICE HOCKEY FEDELATION 略号 K.I.H.F）として設立する。

(事務所)

第2条 この団体は、事務所を横浜市神奈川区広台太田町1-1番地に置く。

## 第2章 目的および事業

(目的)

- 第3条
1. この団体は、神奈川県におけるアイスホッケーおよびインラインホッケー団体を総括し、かつこれを代表する唯一のアマチュア団体であってアイスホッケーおよびインラインホッケーの普及および振興を図り広く県民の健全な発達に寄与することを目的とする。
  2. この規約の以下の条文にある「アイスホッケー」は「インラインホッケー」を含むものとする。

(事業)

- 第4条 この団体は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 神奈川県におけるアイスホッケーの普及および、指導者の養成
  2. 神奈川県におけるアイスホッケーのアマチュア精神の確立
  3. アイスホッケーに関する調査・研究
  4. アイスホッケーに関する神奈川県選手権大会の開催およびその他の競技会の開催
  5. アイスホッケーに関する国内競技会および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選定および派遣
  6. アイスホッケーに関する選手の競技力の向上
  7. 日本アイスホッケー連盟に対し、神奈川県のアマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
  8. 財団法人神奈川県体育協会に対し、アマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
  9. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業



### 第3章 役員

(役員)

第5条 本団体には、次の役員を置く。

- |    |     |   |      |               |
|----|-----|---|------|---------------|
| 1. | 会長  | 1名  | 副会長  | 若干名           |
| 2. | 理事長 | 1名  | 副理事長 | 若干名           |
| 3. | 理事  | 総数を20名以内とし(うち会計理事2名含む)、会長指名理事8名以上、ブロック選出理事10名とする。 |      |               |
|    |     | ブロック別選出理事は下記のとおりとする                               |      |               |
|    |     | 1・7種  | 7名   | (一般・女子)       |
|    |     | 2種  | 1名   | (大学)          |
|    |     | 3種  | 1名   | (高等学校、高校生チーム) |
|    |     | 4、5、6種  | 1名   | (小・中学生)       |
|    |     | 計   | 10名  |               |
| 4. | 監事  | 2名  |      |               |

(役員を選任)

- 第6条
1. 会長及び副会長は理事会で推挙されたものを代議員会の承認により決定する。
  2. 理事および監事は代議員会で選任し、理事長および副理事長は理事の互選により定める。
  3. 理事は代議員を兼ねることはできない。

(役員職務)

- 第7条
1. 会長はこの団体の業務を総理し、この団体を代表する。
  2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
  3. 理事長は会長を補佐し、理事会の議決に基づき団体の業務を掌握する。
  4. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代理する。
  5. 理事は理事会を組織し、この団体の業務を議決して執行する。
  6. 会長および副会長は、必要に応じて理事会に出席することができる。

(役員任期)

- 第8条
1. この団体の役員任期は2年とし、再任を妨げない。
  2. 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
  3. 役員は、その任期終了後でも後任者が就任するまではなおその職務を行う。

(役員解任)

- 第9条 役員は次の各号に該当するときは、理事現在数及び代議員現在数の各々の3分の2以上の議決により役員を解任することができる。
1. 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
  2. 職務の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

## 第4章 代議員

(代議員の選出)

第10条 この連盟の代議員の選出は下記のとおりとする。

- ・ 連盟加盟チームは各チーム1名の代議員を選出するものとする。
- ・ 4種登録チームで運営母体が同一である小学生チーム及び中学生チームは、併せて1名の代議員とする。
- ・ インライン登録チームは代議員を選出しない。

## 第5章 会計

(会計)

第11条 この団体の会計年度は4月1日に始まり、3月31日に終わる。

## 第6章 会議

(代議員会)

第12条 代議員会はこの団体の最高議決機関として開催し、重要事項を討議する。

1. 事業計画及び収支予算についての承認
2. 事業報告及び収支決算についての承認
3. 基本財産についての事項
4. 本条第1号、第3号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担及び権利の放棄についての事項
5. 規約の改定
6. 役員を選定
7. 加盟・脱退・賞罰に関する事項
8. この団体の解散に関する事項
9. その他、この団体に関する重要事項で理事会において必要と認める事項

(理事会)

第13条 理事会は、この団体の事業の運営に関し審議決定し、次の事項を付議する。

1. この団体の事業の企画及びその遂行に関する事項
2. アイスホッケーに関する国内競技および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選考及び推薦
3. 名誉会長・顧問・参与の推薦
4. 専門委員会設置に関する事項
5. その他、この団体の運営に関する事項

(会議の招集)

- 第 14 条 1. 代議員会は会長が招集し少なくとも 7 日前に日時、場所その会議の目的たる事項を代議員あて通告する。
2. 理事会は、会長の承認を経て理事長が招集する。
3. 会長が認めた場合または、構成員の 3 分の 1 以上から会議に付議すべき事項を示して招集を請求された時は、その要求のあった 21 日以内に臨時代議員会または臨時理事会を開催しなければならない。
4. 代議員会の議長は会長とし、理事会の議長は理事長とする。

(定足数)

- 第 15 条 1. 代議員及び理事会の定足数は構成員の過半数とする。ただし当該事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した欠席者は定足数の上で出席者とみなす。
2. 代議員会及び理事会の議事はこの規約に別段の定める場合を除くほか、議決権を有する出席者の過半数を持って決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(議事録)

- 第 16 条 すべての会議には議事録を作成し、議長および出席者の代表 2 名以上の署名押印の上これを保存する。

## 第 7 章 専門委員会

(専門委員会)

- 第 17 条 1. この団体の任務遂行のために必要あるときは、理事会の議決に基づき専門委員会をおくことができる。
2. 前項の規定による専門委員会の運営に関する規則は、理事会の議決を経て別に定める。

## 第 8 章 加入団体

(加入)

- 第 18 条 1. 次に掲げる団体で、この団体の趣旨に賛同するものは、理事会及び代議員会における承認を経て加入団体となることができる。
- ① 神奈川県に所在地を有するアイスホッケーに関する団体
- ② 神奈川県に所在地を有する大学の OB で全国的に組織されたアイスホッケーに関する団体
2. 新規に加入しようとする団体は所定の額の加入金を納めるものとする。またその名称は既加入チームの名称と混同されないようにしなければならない。
3. 新規に加入しようとする団体は、既加入団体から本連盟規約に照らしてふさわしいチームである旨の推薦を受けなければならない。
4. チーム事情により活動を停止せざるを得なくなった団体は、休部の申請をすることができる。

(資格喪失)

第 19 条 加入団体は、次の事由によってその資格を喪失する。

1. 脱退
2. 加入団体の解散
3. 除名

(脱退)

第 20 条 加入団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を提出し代議員会の承認を経なければならない。

(除名)

第 21 条 加入団体が次の各号に該当するときは、代議員会の議決を経て会長がこれを除名することができる。

1. この団体の加入団体としての義務に違反したとき
2. この団体の名誉を傷つけ、又はこの団体の目的に違反する行為があったとき
3. 負担金を 2 年以上滞納したとき

(負担金)

第 22 条 加入団体は毎年別に定める負担金を当該年度の 6 月末日までに納入するものとする。

## 第 9 章 規約の変更ならびに解散

(規約の変更)

第 23 条 この規約は代議員会出席人員の 3 分の 2 以上の議決を経なければ変更できない。

(解散)

第 24 条 この団体の解散は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。

(残余財産の処分)

第 25 条 この団体の解散に伴う残余財産は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の決議を必要とし、この団体の目的に類似の目的を有する公益法人に寄付するものとする。

# 神奈川県アイスホッケー連盟規約

## 施行細則

1999.2.27

### 第3章 第6条 (役員を選任)

#### 理事及び監事の選任方法

##### [ブロック選出理事]

- ① 理事長は代議員会に先立って、ブロック別会議を招集する。
- ② 理事への立候補者は連盟登録者に限る。
- ③ 立候補者は改選期のブロック別会議の 10 日前までに事務局にその旨を届け出なければならない。
- ④ 事務局は届け出のあった立候補者名を、ブロック会議までに当該ブロック所属の各チームへ通達するものとする。
- ⑤ ブロック別会議では理事候補を選出し、代議員会で承認される。
- ⑥ ブロック別会議での選出方法は所属各チーム代議員の合意による。

##### [会長指名理事]

- ・ 本連盟運営の円滑化を目的として、会長は連盟登録者または有識者などから 8 名以上 10 名以内で理事候補を指名する。
- ・ 会長の指名する理事候補は代議員会で承認される。

##### [監事]

- ・ 理事会の推薦を受け、代議員会で承認される。
- ・ 監事に推薦されるものは連盟登録者に限る。
- ・ 改選期にあたっては、改選前の理事会において監事を推薦する。

### 第4章 第10条 (代議員の選出と職務)

- ・ 1、2、3、4、7種の団体は各チーム1名の代議員を選出する
- ・ 代議員は各チームの代表者として代議員会に出席し、連盟の運営に関与することができる。
- ・ 代議員は自らが代議員会に出席できない時、同チームの代理出席者を参加させ、その議決権を委任することができる。

### 第4章 第11条 (会計監査)

- ・ 監事は連盟の会計執行状況について監査を行い、代議員会でその結果を報告する。
- ・ 監事は会計執行状況を掌握するために、理事会に対して必要に応じて関係書類の提出を求めることができる。

### 第7章 第17条 (専門委員会)

- ・ 連盟の運営にあたり、以下のように専門委員会を設置する。

◇総務委員会

- ・総務委員会
- ・会計委員会
- ・広報委員会
- ・審議委員会
- ・医事委員会

◇競技委員会

- ・県主催事業委員会
- ・大会運営幹事会

◇普及委員会

- ・小学生
- ・中学生
- ・女子
- ・インライン
- ・オールドタイマー

◇強化委員会

- ・小中学生
- ・高校
- ・大学
- ・女子
- ・一般
- ・選手選考委員会

◇レフェリー委員会

◇日ア連事業本部

- ・委員会の委員は、連盟登録者または有識者から担当理事の推薦を受け、理事会で委任する。

第8章 第18条

(加入)

[加入団体の種別]

- ・ 1種 一般団体
- ・ 2種 単独の大学を代表する団体
- ・ 3種 単独の高校を代表する団体及び高校生で編成される団体
- ・ 4種 アイスホッケー・スポーツ少年団またはこれに準ずる団体
- ・ 5種 単独の中学校を代表する団体
- ・ 6種 単独の小学校を代表する団体
- ・ 7種 女子選手で編成される団体

[加入金]

- ・ 新規に加入しようとする団体は加入金として20万円を納入するものとする。

[レフェリー]

- ・ 1種・7種加入団体はレフェリーを登録し、レフェリー委員会の指導の元活動するものとする。

[休部]

- ・ 休部しようとする団体は、連盟にその旨を届け出て、理事会で承認されれば3年間を限度として休部扱いとすることができる。その間に活動を再開した場合は新規加入金の必要はない。
- ・ 休部中は連絡先として最低1名の登記会員を登録するものとする。

[活動の再開]

休部後に活動を再開しようとする団体は連盟にその旨を届け出て、正規の連盟登録または追加登録を経て、活動を再開することができる。

神奈川県アイスホッケー連盟 2019-2020 役員体制  
2019組織図 (2019/07/13 第2回理事会)

会 長	藤木 幸太			
顧 問	梅沢 健治、小西 仁、長谷川 清、福田 典夫			
理 事 長	金子 精司			
副理事長	伊藤 一、柏木 満、宮本 淳平			
理 事	石山 卓男、猪俣 信行、岩崎 伸一、内田 貴典、江守 永、鍵和田 和明、 菊地 拓海、佐々木 暁、天明 太郎、中島 透、西村 三雄、長谷川 宜彦、 畑中 和幸、松田 圭介、水原 健司、吉田 見登留			
監 査	白石 光一、飯田 松男			
総務本部		委員長	副委員長	委員
本部長 伊藤 一	総務委員会	伊藤 一	宮本 淳平	猪俣 信行 鍵和田 和明
	会計委員会	長谷川 宜彦	水原 健司	
	審議委員会	金子 精司	伊藤 一	吉田 見登留
	懲戒委員会	柏木 満	佐々木 暁	伊藤 一
	広報委員会	長谷川 宜彦	石山 卓男	内田 貴典
	医事委員会	江守 永	三辺 武幸	飯田 松男 東山 祐介 芳賀 秀郷
競技・強化本部		委員長	副委員長	委員
本部長 長谷川 宜彦	競技委員会	内田 貴典	伊藤 一	飯田 松男 石山 卓男 猪俣 信行
	強化委員会(成年)	長谷川 宜彦	水原 健司	松田 圭介 天明 太郎
	強化委員会(大学)	石山 卓男	松田 圭介	中島 弘康 根本 進
	強化委員会(高校)	菊地 拓海	松田 圭介	水原 健司
	強化委員会(小・中)	松田 圭介	水原 健司 吉田 見登留	林 毅 小森 和之 鈴木 孝昌 小林 秀 高橋 浩三
	強化委員会(女子)	水原 健司	畑中 和幸	佐藤 靖子 長谷川 愛 坪山 睦
レフェリー委員会		委員長	副委員長	委員
	レフェリー委員会	佐々木 暁	中島 透 吉田 見登留	畑中 和幸 鎌田 司 桑田 仁衣奈
普及本部		委員長	副委員長	委員
本部長 宮本 淳平	普及委員会(小・中・女子)	水原 健司	宮本 淳平	畑中 和幸 佐藤 茂之 佐藤 靖子 天明 太郎
	オールドタイマー委員会	鍵和田 和明	長谷川 清	
		西村 三雄(日ア連関東ブロック長)		
	インライン委員会	谷口 泰久(日ア連 関東ブロック委員)		
日ア連事業本部		委員長	副委員長	委員
本部長 金子 精司	日ア連事業委員会	岩崎 伸一	猪俣 信行	伊藤 一 柏木 満
	日ア連評議委員	宮本 淳平		
	日ア連連絡責任者	伊藤 一・鍵和田 和明 (登録業務) 岩崎 伸一・猪俣 信行(登録業務を除く)		

大会名： 第8回 Ice Hockey Japan Cup U9 関東ブロック予選会  
〔参加申込書〕

チーム名	神奈川県選抜		ジャージ カラー	ホーム用 青	ビジター用
連絡先	郵便番号:	222-0033	ベンチ入 役員登録 6名まで  (試合時6名までベンチ入可) 例)ヘッドコーチ アシスタントコーチ ゴリーコーチ ドクター 用具マネジャー トレーナー	役職	氏名
	住所:	横浜市港北区新横浜2-11 新横浜スケートセンター WEST内		監督	高橋 浩三
	TEL:	045-471-1408		コーチ	鈴木 孝昌
	FAX:	045-471-1408		コーチ	治山 純也
	E-mail:	info@knhf.net		コーチ	吉田 見登留
連絡者名:	長谷川 宜彦		コーチ	畑中 和幸	登録番号
			コーチ	水原 健司	

No.	ポジション (G・S)	背番号	選手名 (漢字)	選手名 (カタカナ)	生年月日 (西暦)1900/00/00	登録番号 (8桁)	備考 C/A 国籍・所属チーム名 他特記事項
1	GK	33	小野 隼希朗	オノ シュンキロウ			新横浜ジュニア
2	GK	1	星川 千紘	ホシカワ チヒロ			YOKOHAMA STARS
3	FW	14	滝沢 亮太郎	タキザワ リョウタロウ			アイリンズ
4	FW	31	後藤 莉奈	ゴトウ リナ			アイリンズ
5	FW	12	桂川 絵理	カツラガワ エリ			アイリンズ
6	DF	17	奥原 航英	オクハラ コウエイ			新横浜ジュニア
7	DF	20	遊佐 詞音	ユサ シオン			新横浜ジュニア
8	DF	8	増野 絢心	マシノ アヤミ			新横浜ジュニア
9	DF	19	ババレ アミル	ババレ アミル			新横浜ジュニア
10	DF	6	藤澤 舷叶	フジサワ ゲント			新横浜ジュニア
11	FW	13	柳川 眞之介	ヤナガワ シンノスケ			新横浜ジュニア
12	FW	11	氏次 聖良	ウジツグ キョウ			新横浜ジュニア
13	FW	9	菊地 愛緒花	キクチ アオカ			新横浜ジュニア
14	FW	18	角丸 蓮斗	カクマル レント			新横浜ジュニア
15	FW	10	高見 潤	タカミ ジュン			新横浜ジュニア
16	DF	30	木村 仁海	キムラ ニヒト			YOKOHAMA STARS
17	FW	28	小島 健太郎	コジマ ケンタロウ			YOKOHAMA STARS
18	FW	15	坂井 欽一	サカイ キンイチ			YOKOHAMA STARS
19	FW	16	治山 航宜	ハルヤマ コウキ			YOKOHAMA STARS
20							
21							
22							
23							
24							
25							

上記の通り申し込みます。2020年 2月 3日

所属加盟団体 神奈川県アイスホッケー連盟

会 長 名 藤木幸太 印

記載責任者名 宮本淳平 印



## 第15回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会関東ブロック予選会参加申込書

チーム名 神奈川県選抜  
 所在地 横浜市港北区新横浜2-11 スケートショップウエスト内  
 代表者 水原 健司  
 代表者連絡先 \_\_\_\_\_  
 監督 小森 和之  
 コーチ 水原 健司  
 マネージャー 長谷川 宜彦

No	背番号	Pos	C・A	選手名	フリガナ	生年月日	登録番号	女子に○
1	70	GT		樋口 諄	ヒグチ シュン			
2	44	GT		徳永 晴樹	トクナガ ハルキ			
3	21	DF		服部 峰大	ハットリ ミネヒロ			
4	5	DF		鈴木 朝陽	スズキ アサヒ			
5	17	DF		安村 昂暁	ヤスムラ タオ			
6	13	DF		バルマス 帆那	バルマス ハナ			○
7	19	DF		金子 瑛徠	カネコ アキラ			
8	24	DF		柳川 健太郎	ヤナガワ ケンタロウ			
9	25	FW	A	畑中 こはる	ハタナカ コハル			○
10	8	FW		平田 蓮樹	ヒラタ ハズキ			
11	11	FW	A	福西 佑希	フクニシ ユウキ			
12	4	FW		ドナヒュー セオドア武史	ドナヒュー セオドアタケシ			
13	18	FW	C	北川 太陽	キタガワ タイヨウ			
14	23	FW		李 瑛	リー アキラ			
15	20	FW		長谷川 純平	ハセガワ ジュンペイ			
16	16	FW		小泉 慧仁	コイズミ アキト			
17	22	FW		宮脇 正義	ミヤワキ マサヨシ			
18	10	FW		野口 遊翔	ノグチ ユウト			
19	12	FW		Krug Benjamin	クルッグ ベンジャミン			
20	15	FW		長野 礼緒	ナガノ レオ			
21								
22								

上記のとおり関東ブロック予選に参加料 75,000円を添えて申込みます。

代表者名 水原 健司  
 連絡責任者 長谷川 宜彦  
 連絡責任者住所 横浜市港北区新横浜2-11 スケートショップウエスト内  
 ☎/FAX/E-mail \_\_\_\_\_

JOCジュニアオリンピックカップ大会  
第14回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会

チーム名		関東選抜			シャーシカラー	ホーム用	ビジター用	
						青		
プログラム掲載用 メンバー表（氏名をお間違いなくご記入ください）								
No.	ポジション (G・D・F)	背番号	C/A	選手名 (漢字)	選手名 (カタカナ)	所属チーム名 又は学校名	生年月日 (西暦) 1900/00/00	学年
1	G			井田 吏星	イダ リセ	稲毛マリナーズ		中学2
2	G			高橋 絢萌	タカハシ アヤメ	埼玉氷球ガールズ		中学2
3	D		A	小島 あんず	コジマ アンズ	埼玉氷球ガールズ		高校2
4	D			風間 華帆	カザマ カホ	埼玉氷球ガールズ		高校2
5	D			中川 眞穂	ナカガワ マホ	稲毛マリナーズ		中学3
6	D			山崎 涼	ヤマザキ スズ	埼玉氷球ガールズ		中学2
7	D			成山 桃歌	ナリヤマ モモカ	千葉Jr.ペンギンズ		中学1
8	F		A	濱野 美羽	ハマノ ミウ	クールフロッグス		高校2
9	F		C	勝俣 恵理	カツマタ エリ	ソニックスレディーズ		高校2
10	F			山口 満奈美	ヤマグチ マナミ	埼玉氷球ガールズ		高校1
11	F			小池 望愛	コイケ ノノア	アイリonz		中学2
12	F			澤田 葵	サワダ アオイ	埼玉氷球ガールズ		中学2
13	F			前田 七海	マエダ ナナミ	埼玉氷球ガールズ		中学2
14	F			長谷川 聖奈	ハセガワ セナ	甲府モンキーズジュニア		中学2
15	F			星野 成美	ホシノ ナルミ	稲毛マリナーズ		中学2
16	F			中根 心美	ナカネ ココミ	甲府モンキーズジュニア		中学1
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

令和元年度関東中学校アイスホッケー大会  
兼  
第40回全国中学校アイスホッケー大会関東代表決定戦  
神奈川県選抜

NO	POS	C/A	氏名	ふりがな
1	GK		菅 理輝	すが りき
2	GK		西郷 颯人	さいごう はやと
3	DF		原 遼介	はら りょうすけ
4	DF	C	林 陽汰	はやし はるた
5	DF		山賀 響	やまが ひびき
6	DF		長谷川 公亮	はせがわ きみと
7	DF		増田 楽人	ますだ がくと
8	FW		土井 清太郎	どい せいたろう
9	FW		角丸 洸斗	かくまる ひろと
10	FW	A	棚橋 悠紀	たなはし ゆうき
11	FW		栖原 大河	すはら たいが
12	FW	A	渡辺 大雅	わたなべ たいが
13	FW		清田 功介	きよた こうすけ
14	FW		大久保 秀悟	おおくぼ しゅうご
15	FW		金澤 颯太	かなざわ そうた
16	FW		上野 紘大	うえの ひろむ
17	FW		倉田 晃佑	くらた こうすけ
18	FW		小野 快志朗	おの かいしろう
19	FW		小森 昊	こもり そら
20	FW		小島 壯太	こじま そうた
21	FW		野口 大翔	のぐち だいと

TEAM STAFF

監督	布沢 耕平	ふざわ こうへい
コーチ	松田 圭介	まつだ けいすけ
コーチ	林 毅	はやし つよし



**第40回全国中学校アイスホッケー大会  
神奈川県選抜**

NO	POS	C/A	氏名	ふりがな
1	GK		菅 理輝	すが りき
2	GK		西郷 颯人	さいごう はやと
3	DF		原 遼介	はら りょうすけ
4	DF	C	林 陽汰	はやし はるた
5	DF		山賀 響	やまが ひびき
6	DF		長谷川 公亮	はせがわ きみと
8	DF		土井 清太郎	どい せいたろう
9	DF		角丸 洸斗	かくまる ひろと
10	FW	A	棚橋 悠紀	たなはし ゆうき
11	FW		栖原 大河	すはら たいが
12	FW	A	渡辺 大雅	わたなべ たいが
13	FW		清田 功介	きよた こうすけ
14	FW		大久保 秀悟	おおくぼ しゅうご
15	FW		金澤 颯太	かなざわ そうた
16	FW		上野 紘大	うえの ひろむ
17	FW		倉田 晃佑	くらた こうすけ
18	FW		小野 快志朗	おの かいしろう

TEAM STAFF

監督	布沢 耕平	ふざわ こうへい
コーチ	松田 圭介	まつだ けいすけ
コーチ	林 毅	はやし つよし



第75回国民体育大会関東ブロック予選 神奈川県(少年)代表選手

	氏名	ポジション	所属	学年	C/A	備考
30	及川 寿暉	GK	慶應義塾高校	2年		
1	永井 源太	GK	武相高校	3年		
14	赤坂 泰成	DF	慶應義塾高校	3年	A	
17	小島 快	DF	慶應義塾高校	2年		
7	大西 尚典	DF	慶應義塾高校	1年		
22	辻 優大	DF	武相高校	1年		
20	小黒 寛	DF	新横浜ジュニア	1年		
10	田原 輝志	FW	慶應義塾高校	3年	C	
9	荘 敬大	FW	慶應義塾高校	2年		
8	荘 晶大	FW	慶應義塾高校	2年		
2	立島 健大	FW	慶應義塾高校	1年		
16	小島 佑太	FW	慶應義塾高校	1年		
11	天野 惟月	FW	武相高校	3年	A	
23	佐藤 諒	FW	武相高校	2年		
15	松井 夢葵	FW	武相高校	2年		
4	古谷 凌我	FW	武相高校	1年		
補欠	多田 圭之介	GK	慶應義塾高校	1年		
補欠	江間 匠	DF	武相高校	3年		
補欠	山田 陽久	DF	武相高校	1年		
補欠	須田 雅彦	FW	慶應義塾高校	3年		
補欠	郷 基成	FW	慶應義塾高校	1年		
監督	菊地 拓海		神奈川県アイスホッケー連盟高校強化委員長(武相高校)			
コーチ	松田 圭介		神奈川県アイスホッケー連盟高校強化副委員長			

第75回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 成年の部

神奈川県代表 オールメンバー表

役	ふりがな	はせがわ のりひこ		
	監督	長谷川 宜彦		
員	コーチ	佐藤 育也	コーチ	水原 健司
	コーチ	松田 圭介	トレーナー	加藤 胡々呂

	No.	ポジション	背番号	C/A	氏名	
					氏名	氏名のよみがな
選 手	1	G	25		小野 航平	おの こうへい
	2	G	1		加藤 颯汰	かとう そうた
	3	D	7		坂元 佑	さかもと ゆう
	4	D	11	C	小川 雄太朗	おがわ ゆうたろう
	5	D	6	A	鈴木 惇平	すずき じゅんぺい
	6	D	4		松田 将弥	まつだ しょうや
	7	D	20		其田 拓也	そのだ たくや
	8	F	10		金子 嵩基	かねこ たき
	9	F	12		瀧川 智也	かきかわ ともや
	10	F	14		佐野 靖也	さの せいや
	11	F	18		谷 慎太郎	たに しんたろう
	12	F	22		十文字 陽亮	じゅうもんじ ようすけ
	13	F	17	A	鈴木 啓介	すずき けいすけ
	14	F	24		安藤 直哉	あんどう なおや
	15	F	21		金村 知紀	かねむら ともりの
	16	F	16		滝 智弥	たき ともや

## 懲戒及び処分一覧

2020年3月31日 現在

大会名	氏名	チーム	年月日	ペナルティ		処分	対象試合	
第75回国体県予選会	杉浦 祐哉	EAGLES	2019/12/3	MP	#141条 i 「ファイティングに関わったプレーヤー」によりマッチ・ペ	2試合出場停止	第67回神奈川選手権 12/22、1/21	済
第67回神奈川選手権	北野 郷史	イワトビペンギンズ	2020/2/7	5+ GM	#139条 ii 「エルボーイングで相手選手を無謀にも危険にさらしたプレーヤー」によりメジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	追加処分 嚴重注意		
第67回神奈川選手権	藤田 輝	EAGLES	2020/2/17	5+ GM	#122条 iv 「チャージングで相手選手を無謀にも危険にさらしたプレーヤー」によりメジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	1試合 出場停止	第67回神奈川選手権 3/26	
第67回神奈川選手権	越川 諒大	ケッターズ	2020/2/17	5+ GM	#149条 x 「インターフェアランスで相手選手を無謀にも危険にさらしたプレーヤー」によりメジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	追加処分 無し		
第67回神奈川選手権	Lukasiewicz Todd	相模原Falcons	2020/2/29	5+ GM	#141条 v 「いさかいに最初に介入したプレーヤー」によりメジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	1試合 出場停止		
第67回神奈川選手権	松村 夏海	Mavericks	2020/3/21	5+ GM	#143条 iii 「ハイスティックのファウルで相手選手を無謀にも危険にさらしたプレーヤー」によりメジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	追加処分 無し		

## 審議委員会事項

2020年3月31日 現在

大会名	チーム名	内容	処分
2019年度登録	横浜JETS	選手2名についてFace offシステム作業のミスから2重登録となった。 選手本人からIDを聴取し、「…Face offシステムにて、該当する2名の登録番号と名前等で検索しましたが、見つからなかった…」この時点で入力したデータに違いがあることに気づく必要があった。IDを持っているのに「新規登録」に走ったことが今回2重登録の原因である。	先行して登録しているチームからの退部処理、その後改めて自チームから追加登録申請、県連が有効と判断するまで該当選手の出場停止とする。